

第4回全体会で出された主な意見及び追加提出のあった意見と修正内容等について

No	章	項目	意見概要	修正内容・対応方針	修正箇所
1	全体	—	・基本構想が自分事になるか考えた時、重点的な取組を通じて、区の取り組み姿勢は見えるが、区民にどのような参加の仕方を求めて行くのか、どう参加してほしいのか、がわかりやすく書かれている項目があっても良いのではないかと。	・分野ごとに、区民の役割を記載することは難しいが、より基本構想を自分事に捉えられるよう、基本構想の概念図を追記する。	P1 14行目
2	全体	—	・この基本構想が区民に読んでもらえるような工夫をし、区民目線に立ったものにしていただきたい。 ・区民への伝え方について、漫画で説明するなど見るハードルを下げる工夫が必要ではないかと。	・冊子として公表する際には、デザインやレイアウト等に工夫を凝らし、区民が見やすい体裁にしていく。	—
3	全体	—	・部会のまとめシートについて、今後も審議で使用するのであれば、もう一度部会のメンバーに意見照会をし、修正などする必要があるのではないかと。	・まとめシートは、起草をしていく中での、参考資料として活用しているので、追加意見などは、答申や提言などに反映していく。	—
4	全体	—	・DXはデジタルトランスフォーメーションと略語について、説明があるが、ICTやAIなどについても記載したほうが良いのではないかと。 ・ICTやソーシャルインクルージョンなどの新しい概念についての記載には、説明を追記していくべきではないかと。 【調整部会での意見】	・略語や新しい概念などについて、注釈を追記する。	P4 3行目ほか
5	はじめに	—	・はじめにの箇所について、最初に「区は」と記載されており、その後、基礎自治体の使命や責務という言葉がある中で、最後の文章で「私たちは共に歩みを進める」とあるが、「私たち」は誰を指しているのか。そこを明確にしないと区からの一方通行の文章となってしまうのではないかと。	・「はじめに」の、「区は」「私たちは」という文言（主語）について、修正を図る。	見開き 7行目ほか
6	はじめに	—	・10年後の基本構想と考えた時、コロナのことをどこまで記載するかは、バランスを考えるべきではないかと。	・コロナ禍の記述は、短期的な影響については記載を控える。	—

No	章	項目	意見概要	修正内容・対応方針	修正箇所
7	第1 基本構想策定の背景	(3) 現基本構想に基づいた区の取組の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・現基本構想の振り返りについて、近3年程度だと目標値に対して、100%達成したのは2・3割で、7～8割はその年の目標を達成できていない。指標によっては、令和元年度決算数値が前年度より下がったとしても進捗度合いでは80%を超えてしまうものもある。目標に向けて施策展開が図られたことは否定しないが、記載方法に疑問を感じる。 ・現基本構想の達成度の表現方法について、実現できなかったことも記載し、価値観は入れず、達成状況は別紙にまとめてみてはどうか。 ・この10年間の取組について、できたことは大きくアピールされているが、できなかったことに対する総括が見えにくいと感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指標の達成度については、未達成の指標に関する記述を追加した上で、評価については記載しない。なお、現時点において、令和2年度の実績が把握困難なため、令和元年度の実績を記載する。 	P2 8行目 ほか
8	第1 基本構想策定の背景	(4) 区を取り巻く環境変化と対応	<ul style="list-style-type: none"> ・第1章の(4)については、第1回目の資料にあった基本構想検討における論点にある内容を網羅すべきではないか。例えば、コロナ禍での教育のフォローアップや区立施設の更新などを入れていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1章の(4)は、審議会や各部会で議論があった内容の中から、特に議論があったものを中心に記載している。なお、区立施設再編整備など個別事項は、他の章で記載。 	—
9	第1 基本構想策定の背景	(4) 区を取り巻く環境変化と対応	<ul style="list-style-type: none"> ・区を取り巻く環境変化と対応の「①「人生100年時代」への対応」の箇所について、人口動態の大きな流れを食い止めることは容易ではないとの表現は、白旗をあげているような印象を受ける。少子化への対策についても、もう少し書き込みがあっても良いのではないか。 ・人口減少の記載について、人口が減っていることが悪いことのように読めるが、今の人口を維持することが適当なのか。食い止めるべきという表現をいかが。 ・人口減少の問題について、区では若者や外国人の転出超過が原因で人口が減っているとの分析が進んでおり、記載されていることは事実とは異なるのではないか。また、基本構想審議会において、人口動態の議論がされていないことから、記載することは難しいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人口動態の流れを食い止めることは容易ではない、との記述を削除し、一部記載内容を修正。 	P3 9行目
10	第1 基本構想策定の背景	(4) 区を取り巻く環境変化と対応	<ul style="list-style-type: none"> ・区を取り巻く環境変化と対応の「②確実に起きる災害への備えの重要性」の箇所について、首都直下地震、世界的な気候変動の影響と思われる異常気象の順のながれのほうが、その後の防災・防犯分野の重点的な取組の記載順にも合っているので読みやすいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見どおり修正。 	P3 21行目
11	第1 基本構想策定の背景	(4) 区を取り巻く環境変化と対応	<ul style="list-style-type: none"> ・P3④首都圏に暮らす～～他人事ではありません。→私たちこそ、積極的に具体的な改善が必要です。位の温度感が必要だと思います。「ゼロエミッション東京戦略」(東京都)と連動するという文言があっても良いのでは。 【後日、追加意見】 	<ul style="list-style-type: none"> ・項目の終わりの文章に、全員参加による取組が求められる旨の記載があるため、修正なし。なお、今般、地球温暖化防止対策推進法の改正があったことを踏まえ、一部記載内容を修正。 	P4 6行目

No	章	項目	意見概要	修正内容・対応方針	修正箇所
12	第1 基本構想策定の背景	(4) 区を取り巻く環境変化と対応	・ 答申素案において、「女性の活躍支援」「LGBTQ」への言及がないことを懸念しております。要素としては、「多様性」の部分に入ると思うのですが、これらはやはりワードできちんと伝えた方が良いかと思ます。 【後日、追加意見】	・ 「性的指向」や「性自認」について追記。	P4 16行目 ・ P17 9行目
13	第1 基本構想策定の背景	(4) 区を取り巻く環境変化と対応	・ ⑤共に認め合い、つながる社会の箇所、「支援する側」と「支援される側」という関係を超え」とあるが、P16では、「支えー支えられる関係をつくりながら」と記載されており、矛盾が生じていないか。支え・支えられる関係を超えてという表現のほうが適切ではないか。 【調整部会での意見】	・ 分野の「福祉・地域共生」の記述を、修正する。	P17 4行目
14	第1 基本構想策定の背景	(4) 区を取り巻く環境変化と対応	・ P4に記載のある民間の人材が行政内部で活躍できる場とは何を指しているのか。保育の場合であれば、民営化により質の低下が社会問題になっている。	・ 「第5 区政経営の基本姿勢」において、詳細な記載があることから、この章での記載は簡略化する。	—
15	第1 基本構想策定の背景	(4) 区を取り巻く環境変化と対応	・ P4の「さらに(略)民間の人材が行政内部で活躍できる場を広げ・・・」については、P25の3(2)の「・・・職員の専門性の強化を図るとともに、区政の多方面の分野で民間の専門人材を登用する・・・」につながるものであり、また、P24の1(2)の「・・・など、協働に取り組む職員の育成を進めます。」という趣旨とあわせて、もう少し丁寧に書き込むとよい。 【後日、追加意見】	・ 「第5 区政経営の基本姿勢」において、詳細な記載があることから、この章での記載は簡略化する。	—
16	第2 基本構想を貫く3つの基本的理念	次世代をはぐくみ 引き継ぐ ほか	・ P5の「次世代をはぐくみ 引き継ぐ」における「わがまちの歴史を知り、まちに根付く文化や遺産(略)このまちに誇りを感じながら暮らす人々を増やします。」やP22の(2)、P23の「■歴史的文化資産や地域の伝統文化に・・・」については、わが地域のことを理解し、誇りを感じるために大変不可欠なことであり、是非、このまま明記することが大事である。 さらに、これから区の予算を計上する「荻外荘」などや助成金を計上する伝統行事などを、「○○○、○○○など、」と具体的に明記できると区民にとってわかりやすくなる。 【後日、追加意見】	・ 具体的な施設や行事名については記載せず。	—
17	第3 杉並区が目指すまちの姿		・ 住宅都市という言葉は、前回も使っており、魅力があると感じないので、共生都市という言葉を入れてみてはどうか。	・ 第3については、新たな案をお示しする。	P7

No	章	項目	意見概要	修正内容・対応方針	修正箇所
18	第3 杉並区が目指すまちの姿		<ul style="list-style-type: none"> ・全員活躍という言葉は、全員活躍社会などイメージが構っていると思うので、避けたほうが良いのではないかと。 ・住宅都市といった時、産業という分野もあるので、やや偏っている印象を受ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第3については、新たな案をお示しする。 	P7
19	第3 杉並区が目指すまちの姿		<ul style="list-style-type: none"> ・複数案を出すときは、多様性がある、みどりが多く、住宅都市などそれぞれ毛色が違うものとすべきではないかと。 ・今までの基本構想は、「みどり」という言葉が一貫して入っており、杉並区のみどりの印象が非常に強く、みどりやみどりに類する言葉は入れたほうが良いのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第3については、新たな案をお示しする。 	P7
20	第3 杉並区が目指すまちの姿		<ul style="list-style-type: none"> ・「みどり」や「持続可能」など環境が意識される言葉が入っていたほうが良いのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第3については、新たな案をお示しする。 	P7
21	第3 杉並区が目指すまちの姿		<ul style="list-style-type: none"> ・「みどり」という言葉は外せないのではないかと。また、キャッチフレーズだけでなく、理由もセットで示していただいたほうが議論しやすいのではないかと。 ・これは外せないということを明確にしたうえで、結論だけ聞くのではなく、背景なども示し、区民の意見を聞いてみるのが良いのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第3については、新たな案をお示しする。なお、キャッチフレーズの理由などは、前段の文章を修正し、つながりをより明確化するとともに、後段に一部解説も付記する。 	P7
22	第3 杉並区が目指すまちの姿		<ul style="list-style-type: none"> ・認め合うという言葉に象徴されるように、これからは我慢しないといけない部分もあると思うので、理念として譲れないものがあり、後は多様性で認め合い、支え合うというまちでなくてはならないので、それを表現するキーワードがあっても良いのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第3については、新たな案をお示しする。 	P7
23	第3 杉並区が目指すまちの姿		<ul style="list-style-type: none"> ・杉並らしさをプライオリティの一番に置く必要はないのではないかと。区民が主役であれば、区民にとって良いまちの像を素直に示せば良いのではないかと。 ・基本構想の審議にあたり、SDGsを意識した議論を進めてきていることから、「続ける」や「つなぐ」というのは、苦しい時期から次の世代に引き渡していくという観点からも、キーワードとしてあったほうが良いのではないかと。 ・P6と7のつながりを考えた時、「みんな」や「全ての人」という表現が残ると良いのかなと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第3については、新たな案をお示しする。 	P7
24	第3 杉並区が目指すまちの姿		<ul style="list-style-type: none"> ・区民が主体性を持ち、基本構想を理解し、区民一人ひとりが主人公になってほしいという思いから、「主人公」という言葉は生かしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第3については、新たな案をお示しする。 	P7

No	章	項目	意見概要	修正内容・対応方針	修正箇所
25	第3 杉並区が目指すまちの姿		・目指すべきまちの姿について、どれも良いものがない。みんなが活躍などは、他の自治体でも言えることで、杉並の個性が感じられない。区民力という言葉は政治家が使用する言葉のような印象を受ける。委員から出された案の一覧にある「憩う」という言葉は、住宅都市として、安らげるイメージがふくらむ良いフレーズとを感じる。	・第3については、新たな案をお示しする。	P7
26	第3 杉並区が目指すまちの姿		・杉並区が目指すべきまちの姿は、資料43にある杉並区の将来像とリンクしてくると思うので、将来像をここに持つてくるのではどうか。	・第3については、新たな案をお示しする。	P7
27	第3 杉並区が目指すまちの姿		●第3杉並区が目指すまちの姿について ・案1及び案2にある「みんなが活躍できる」「全員活躍」との表現は、障がい者や困難な状況下にいる区民には、共有しづらい表現と考える。 ・案3の「区民力」とは、何か？説明が必要であり、会議で指摘されたように行政側の視点も併記されないとバランスがとれない。 ・一言で杉並区がめざすまちの姿と想定すると、3つの基本理念が内包されている表現がよいのではと考え、以下提案する。 『みんなで ささえあい つながり はぐぐむ すきなみ』 【後日、追加意見】	・第3については、新たな案をお示しする。	P7
28	第3 杉並区が目指すまちの姿		・キャッチフレーズの決め方について、パブリックコメントまでに一つに絞るのではなく、複数案を出して意見を聞いてみてはどうか。他区でも、同様に複数案を出して、区民投票のようなものを実施し、盛り上がった事例がある。	・委員からの提案や各種アンケートなどを基に、複数の案をお示ししていることから、パブリックコメントにおいて複数案を提示する考えはとらず、審議会としての案をしっかりと示すこととする。	—
29	第3 杉並区が目指すまちの姿		○第3 杉並区が目指すまちの姿 ・杉並区の歴史の中で「原水爆禁止署名運動」「東京ごみ戦争」を行政の仕組みを変えた例としてあげているが適切な例か疑問。 ・もっと若い世代にもひびく杉並らしさが表現できる内容を検討して欲しい。 【後日、追加意見】	・区の歴史の中でも内外に強く影響を与えた事例として取り上げたものであり、後世に引き継ぐ観点から記載。なお、全体の文章について修正を行った。	—

No	章	項目	意見概要	修正内容・対応方針	修正箇所
30	第4章 分野ごとの将来像と取組の方向性	全体	・第4の分野ごとの将来像と取組の方向性のまとめ方について、部会のまとめシートのC欄の基本的な取組の方向性に記載されている内容がほとんど抜け落ちてしまっているのではないかと。例えば、防災・防犯では、災害による関連死を減らす取組や減災の視点からのグリーンインフラの推進など落ちている。	・取組の方向性などの起草に当たっては、まとめシート全体のバランスを見て、作成。具体的な事業レベルで記載が必要なものは、提言に記載する方向で今後検討する。	—
31	第4章 分野ごとの将来像と取組の方向性	全体	・分野の分け方について、コロナ禍で働き方も大きく変わってくることもあり、産業は独立させるべきではないかと。中小企業の支援は、基礎自治体の業務としても大事であり、杉並区には産業振興センターという部署もある。	・分野については全体のバランスなどを総合的に勘案し、8つの分野にまとめたもの。現基本構想の目標では、産業のフレイズはないことから、産業の取組を目立たせる観点から、分野名に「地域産業」と記載。	—
32	第4章 分野ごとの将来像と取組の方向性	全体	・区民力を、第4の分野ごとの将来像と取組の方向性でどう施策に生かしていくかを記載すると全体のストーリーがつながるのではないかと。例えば、まちづくり・地域産業の取組の方向性の(1)の箇所に、今区が行っている、世代を超えた交流が進むコミュニティスペースの確保などを追記してみてはどうか。	・「区民力」という文言については、第3の目指すまちの姿から削除するが、基本構想全体を通して、区民が主人公であるというニュアンスを出していく。なお、世代を超えた交流の取組は、学びの分野などで表現。	—
33	第4章 分野ごとの将来像と取組の方向性	分野「防災・防犯」	・サイバーテロやネット詐欺などデジタル化に伴う犯罪には、従来の防犯自主団体のような取組みは機能しにくい。防衛の手法を知り伝えていく教育・普及の活動や、ICTに関する相談のできる体制を作る取組が、ICT化推進の上でも重要となる。 【後日、追加意見】	・意見を踏まえ修正。	P10 14行目
34	第4章 分野ごとの将来像と取組の方向性	分野「まちづくり・地域産業」	・まちづくり・地域産業分野の取組の方向性の(1)について、駅周辺だけでなく、駅に近くない方に対してのまちづくりをどう考えるか。どこに住んでいても、住みやすく行政サービスを受けられるまちづくりが必要ではないかと。	・安全・安心で利便性の高い移動環境の創出を目指すしていく中で、誰もが住みやすく暮らしやすいまちまちづくりを進める。	—
35	第4章 分野ごとの将来像と取組の方向性	分野「まちづくり・地域産業」	・「駅周辺のまちづくり」と、誰もが安全・安心に暮らすまちづくりについては、相反するものではなく、お互いに関係し合うものである。人々が触れ合い、新しい発想や文化を育むためには、出会う拠点が杉並区内において、むしろ不可欠である。今後の具体的な政策として、誰もが主役になれる舞台を駅周辺の拠点にどのようにつくっていけるのかが問われている。 【後日、追加意見】	・意見として受け止める。	—

No	章	項目	意見概要	修正内容・対応方針	修正箇所
36	第4章 分野ごとの将来像と取組の方向性	分野「まちづくり・地域産業」	<ul style="list-style-type: none"> ・P13「建築物の断熱改修」に踏み込んだのは評価するが、省エネ住宅の推進や低炭素（脱炭素）まちづくりにも着手し同時並行で進める必要がある。しっかりと言及してほしい。グリーンインフラ＝公園づくりでは無いので、建築物にもグリーンインフラを盛り込む取り組みを入れて欲しい。 参考：世田谷区うめとびあ https://www.city.setagaya.lg.jp/static/oshirase20201101/p01_002.html より実効性を持つ意味でも、地球温暖化対策、カーボンニュートラルに向けたバックキャストの視点は必要であり言及してほしい。2030年までの10年間の取り組みは重要。 参考： http://www.nies.go.jp/event/sympo/2006/posterweb/hppyo_02.pdf 【後日、追加意見】 	<ul style="list-style-type: none"> ・低炭素まちづくりの推進による環境負荷の低減、の趣旨を追記。 	P11 26行目
37	第4章 分野ごとの将来像と取組の方向性	分野「まちづくり・地域産業」	<ul style="list-style-type: none"> ・杉並区は、コロナ禍において、住宅都市から仕事場になった印象がある。今後、テレワークなどがさらに普及するかわからないが、元のように戻ることはないと思うので、仕事もしやすい視点も入れてみてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・取組の方向性（4）の二つ目の○で表現。 	—
38	第4章 分野ごとの将来像と取組の方向性	分野「まちづくり・地域産業」	<ul style="list-style-type: none"> ・●地域産業 産業については、アフターコロナ禍に伴い、働き方の変化や行政による支援のあり方が大きく変わることが想定され、第1部会でも会議1回を費やして議論した重要分野との認識があり、まちづくりとは独立させてほしい。通常、基礎自治体の産業振興の部署では中小企業支援、起業支援、観光振興、最近ではコロナ対応支援などを担当している。基礎自治体の施策の一つとして、基本構想で方向性を示しておく必要があると考える。 「重点的な取組」には、第2回調整部会の資料「B案」にあった、以下のような記載をお願いしたい。 ・働き方改革やICTを活用したテレワークなどの広がりを受け、生き方に応じた具体的な働き方を選択できるような支援 ・まちの魅力を区内外に観光情報として広く発信 【後日、追加意見】 	<ul style="list-style-type: none"> ・分野については全体のバランスなどを総合的に勘案し、8つの分野にまとめたもの。現基本構想の目標では、産業のフレーズはないことから、産業の取組を目立たせる観点から、分野名に「・地域産業」と記載。 ・就労支援の方向性に「生き方やライフスタイルに応じて」という文言を追記。 ・まちの魅力を区内外に発信していく視点は、重点的な取組の三つ目の項目で表現。 	P11 34行目
39	第4章 分野ごとの将来像と取組の方向性	分野「まちづくり・地域産業」	<ul style="list-style-type: none"> ・●まちづくり（重点的な取組） 記載の順序を、「地域特性を活かした駅周辺まちづくり」→「安心・安全で利便性の高い移動環境の創出」→（両者の連携で目指す）「魅力的で居心地の良い出かけたくなるまちづくり」の順にして頂きたい。 【後日、追加意見】 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を踏まえ、順番を入れ替え。 	P12 6行目

No	章	項目	意見概要	修正内容・対応方針	修正箇所
40	第4章 分野ごとの将来像と取組の方向性	分野「環境・みどり」	・環境・みどり分野の将来像について、気候危機に立ち向かいという表現は取組の方向性なので、将来像にはなじまないのではないか。	・将来のまちの姿として、気候危機に立ち向かっている姿を想定し、記載していることから、そのままとする。	—
41	第4章 分野ごとの将来像と取組の方向性	分野「環境・みどり」	・環境・みどり分野について、もう一步踏み込んで、維持だけでなく、再生・創出していく想いを入れても良いのではないか。また、原発のことも追記すべきではないか。	・重点的な取組において、みどりの保全・創出の記載あり。また、原発については多様な意見があるため一律に言及せず。	—
42	第4章 分野ごとの将来像と取組の方向性	分野「環境・みどり」	・安全・安心、災害に強いということとの関連で、原発に頼らない再生可能エネルギーや省エネで気候危機を乗り越えるということを入れていただきたい。 ・原発については、いろいろな考え方があり、他の委員とは自分や違う考えを持っている。	・原発については多様な意見があるため一律に言及せず。	—
43	第4章 分野ごとの将来像と取組の方向性	分野「環境・みどり」	・カーボンニュートラル問題は今後新しい技術をいかに早く取り込めるかにかかっている。この点での正確な情報提供と区民啓蒙が必要。 ・「原発ゼロ」を盛り込む意見があったがエネルギー問題は様々な意見があり今後の技術開発にも左右されるため区基本方針にはそぐわない。 【後日、追加意見】	・重点的な取組の四つ目の項目で、環境問題に関する情報発信について表現。 ・原発については多様な意見があるため一律に言及せず。	—
44	第4章 分野ごとの将来像と取組の方向性	分野「健康・医療」	・文中に、「人生100年」という言葉が出てくるが、一般的には「人生100年時代」という言葉として使うことが多い。確認して、統一してほしい。 【後日、追加意見】	・意見どおり修正。	P15 1行目
45	第4章 分野ごとの将来像と取組の方向性	分野「健康・医療」	・将来像の説明に、「健診結果に基づいた」との記載があるが、その後にこれについてふれている箇所がなく、唐突感がある。医療情報や健康情報に記載を修正したほうが良いのではないか。 【調整部会での意見】	・意見を踏まえ修正。	P15 2行目
46	第4章 分野ごとの将来像と取組の方向性	分野「福祉・地域共生」	・福祉・地域共生分野の取組の方向性（1）について、「互いを理解し、認め合い、支え・支えられながら暮らすこと」が共生を指しているの、共生の部分は削除しても良いのではないか。	・意見どおり修正。	P17 7行目

No	章	項目	意見概要	修正内容・対応方針	修正箇所
47	第4章 分野ごとの将来像と取組の方向性	分野「福祉・地域共生」	・取組の方向性（3）のケアラーの説明について、無償で支える人と記載しているが、一般的な表現ではなくネガティブに捉えられかねないので、記載を修正したほうが良いのではないか。 【調整部会での意見】	・意見を踏まえ修正。	P17 23行目
48	第4章 分野ごとの将来像と取組の方向性	分野「福祉・地域共生」	・人口が減り、単身世帯も増えているとともに、日々、デジタル社会にさらされる中において、動物とのふれあいを通して、心のバランスを保っている方もおり、動物との共生という言葉を追記していただきたい。	・提言の中に盛り込むこととする。	提言 P5 30行目
49	第4章 分野ごとの将来像と取組の方向性	分野「福祉・地域共生」	・●地域共生（重点的な取組） 共生社会づくりに向けた共助の取組、特にボランティア活動などの様々な社会参加の機会づくり、ICTの活用が今後は不可欠であるため記載をお願いしたい。ICTを活用した共助の取組みは、防災やまちづくりにも必要な取組である。 【後日、追加意見】	・「ICTの活用により」という文言を追記	P18 3行目
50	第4章 分野ごとの将来像と取組の方向性	分野「子ども」	・子ども分野について、子どもたちの生きる力をどのように育てていくかもう少し記載しても良いのではないかと。大人の責任として、どう子どもを育てていくかを感じられる文章があっても良いのではないかと。	・子どものあるべき姿、については、価値観を一定方向に押し付けられない観点から、あえて記載を控える。	—
51	第4章 分野ごとの将来像と取組の方向性	分野「子ども」	・子ども分野について、家庭や地域のことは書かれているが、学校のことがふれられていない。個性豊かな子どもがたくさんいる中で、学校教育について何も記載されていないことが気になったので、打ち出していくべきではないかと。	・学校教育については、「学び」の分野において記載。	—
52	第4章 分野ごとの将来像と取組の方向性	分野「子ども」	・P18（2）「様々な体験の場」→「様々な遊びや体験の場」として欲しい。子どもの自律した育ちを促すには、自由な遊びの場（プレイパーク等）が必要だから。 【後日、追記意見】	・意見を踏まえ追記。	P19 14行目
53	第4章 分野ごとの将来像と取組の方向性	分野「学び」	・教育分野について、環境整備についての記載が目立っており、子どもがどのような大人に育ってほしいかなどを追記してはどうか。	・子どものあるべき姿、については、価値観を一定方向に押し付けられない観点から、あえて記載を控える。	—
54	第4章 分野ごとの将来像と取組の方向性		・今の若年層（10代後半から20代）の方々が社会の中堅になって行く過程が、新基本構想の計画期間となる。若年層に対する施策や考え方について、地域産業の取組の方向性（3）や、健康・医療の人生100年の箇所、子ども・教育分野で若者に向けた教育機会の拡充など、若い世代を後押しするような記載があっても良いのではないかと。	・地域産業（就労 P11）、健康・医療（P15）に、若者に関する記載を追記。	P11 34行目 ・ P15 8行目

No	章	項目	意見概要	修正内容・対応方針	修正箇所
55	第4章 分野ごとの将来像と取組の方向性		・コロナによるマイナス面がある一方、プラスの面もあり、今後10年の杉並を考えた時、新たな価値創造をどう育てていくか、若者の個別・最適なライフサイクルをどう支援していくかを目に見える形にしても良いのではないかと。	・「学び」の中で、新たな価値を生み出す、という視点で表現。	—
56	第5 区政経営の基本姿勢	新たな協働のカタチをつくる	・地域コミュニティが弱まっている現状がある中で、これからの基本構想の基盤となってくる地域コミュニティの維持や強化の観点について、防災・防犯や子ども分野、第5章の協働にも記載があるが、もう少し記載しても良いのではないかと。	・P5において、住民自治の取組の強化について、一部追記する。	P5 1行目
57	第5 区政経営の基本姿勢	新たな協働のカタチをつくる	・24pの1の(1)新たな仕組みを作るとありますが、課題解決の一翼を担うネットワークを構築するだけではないですよ。つまりは、ネットワークが主ではなく、解決することが主です。このように修正を提言します。 「お互いに対等な立場で地域の課題を共有し、協働しながら課題を解決していく協働を軸とした新たな仕組みをつくり、柔軟で開かれたネットワークを構築します。」 それと、本来は中心地の明言が必要です。どこを中心に協働や地域課題の解決やネットワークを進めるのでしょうか。協働プラザでしょうか？それとも、新たな課？大事なところから、地域課なりとも話ながら書いてみてください。 【後日、追加意見】	・趣旨を踏まえ修正。 ただし、どの部署で対応するかについては今後、行政内部で検討されるべきものとする。	P25 10行目
58	第5 区政経営の基本姿勢	新たな協働のカタチをつくる	・区政経営の協働について、固いイメージがあり、他の表現方法は考えられないかと。	・協働という言葉については、定着している用語でもあり、修正なし。	—
59	第5 区政経営の基本姿勢	未来につなぐ区政経営の推進	・これからの人口減少・少子高齢社会は、バラ色の人生とは限らず、いかに戦略的に縮んでいくかを考えた時、区政経営の推進の中では表現をされているが、区民のみんなが協力していく、負担を求める部分があることも同時に必要になってくるので、記載を手厚くしてはどうかと。	・P25の協働の取組で、区民の協力に関する記載を追記する。	P25 6行目
60	第5 区政経営の基本姿勢	未来につなぐ区政経営の推進	・子どもや孫の世代にツケを回さない観点から、施設の更新期やコロナ禍を契機に取り組んでいくメッセージがあっても良いのではないかと。	・区政経営の基本姿勢全体を通して表現。	

No	章	項目	意見概要	修正内容・対応方針	修正箇所
61	第5 区政経営の基本姿勢	未来につなぐ区政経営の推進	・区政経営の推進の（1）について、受益者負担の適正化を検討することは良いが、福祉サービスをしっかりと維持することも記載すべきではないか。	・サービスの向上に関する記載を追記。	P26 15行目
62	第5 区政経営の基本姿勢	未来につなぐ区政経営の推進	・提言素案P9の《行財政運営》の「稼ぐ資源として活用」、「区有財産を稼ぐ視点から」については、第4回全体会の意見で述べられたように、資産の価値を生かすような書き方に直すとともに、「答申」にも、明記することが区民に対しての大事なメッセージとなる。 また、区役所や区議会側だけでなく、区民や提案する民間団体にとっても、お互いにメリットとなる観点を明記できないか。この点、提言素案に明記することも。 【後日、追加意見】	・（1）で言及あり。	—
63	第5 区政経営の基本姿勢	未来につなぐ区政経営の推進	・区政経営の推進の（2）の職員の育成の箇所について、育成だけでなく、職員の働く環境をつくることも重要ではないか。区民をさせる区職員の労働環境を整理・支援することは重要で、職員のケアや新しい優秀な職員をリクルーティングするなど人材の確保の記載を入れたほうが良いのではないか。	・すべての職員がいきいきと働くことができる勤務環境について、追記。	P26 24行目
64	第5 区政経営の基本姿勢	未来につなぐ区政経営の推進	・区政経営の推進に記載のある職員の専門性の強化について、縦割りの打破やクロストークによりつむぎ出すなど前向きなことが入ってくると良いのではないか。	・セクショナリズムを排していくことについて、追記。	P26 29行目
65	第5 区政経営の基本姿勢	未来につなぐ区政経営の推進	・行政の連携は難しい問題で、縦割りなどの意見もあったが、前向きな記載で一つ項目を入れても良いのではないか。	・セクショナリズムを排していくことについて、追記。	P26 29行目
66	第5 区政経営の基本姿勢		・施策に横串しをさしていくことが改めて重要となる。区政経営の基本姿勢のページに、農福連携のような取組を全面に出しても良いのではないか。	・セクショナリズムを排していくことについて、追記。	P26 29行目
67	基本構想に基づく具体的な取組の実施に当たって（提言素案）		・提言の位置付けについて、冒頭の文章に明記をしたほうが良いのではないか。また、文中は「提言」ではなく、「意見」に変えて、条例の根拠を記載したほうが良いのではないか。 【調整部会での意見】	・意見を踏まえ修正。	提言 P1 3行目

No	章	項目	意見概要	修正内容・対応方針	修正箇所
68	基本構想に基づく具体的な取組の実施に当たって（提言素案）	防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> ・町会等防災の主力のD級ポンプが生産中止になります。今後、スタンドパイプの普及が欠かせなくなると考えています。 消火栓近くの住宅、公共地への設置の推進 【後日、追加意見】 	<ul style="list-style-type: none"> ・提言の内容に反映。 	提言 P1 18行目
69	基本構想に基づく具体的な取組の実施に当たって（提言素案）	まちづくり・地域産業	<ul style="list-style-type: none"> ・P1、私鉄の駅前空間の充実、を追加してほしい。 【後日、追加意見】 	<ul style="list-style-type: none"> ・答申素案の「まちづくり・地域産業」に同趣旨の記載あり。 	—
70	基本構想に基づく具体的な取組の実施に当たって（提言素案）	まちづくり・地域産業	<ul style="list-style-type: none"> ・P1の「まちづくり・地域産業」の「駅前への大人の学び場などの整備を検討する」については、10代も入っていることが分かるように「駅前への「若者」や大人の学び場などの整備を検討する」と「若者」の箇所を追加する。 【後日、追加意見】 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を踏まえ修正。 	提言 P1 28行目
71	基本構想に基づく具体的な取組の実施に当たって（提言素案）	健康・医療	<ul style="list-style-type: none"> ・「医師とケアマネがつながり」という文言があるが、地域の医療や福祉を担っているのは、この二者だけではない（例：訪問看護や社協など）ので、「情報の一元化により地域医療・地域福祉を担う専門職がつながり」など表現を修正したほうが良いのではないかと。 【後日、追加意見】 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見どおり修正。 	提言 P4 16行目
72	基本構想に基づく具体的な取組の実施に当たって（提言素案）	健康・医療	<ul style="list-style-type: none"> ・健康・医療の上から13個目の○「医療情報のデータベース化やかかりつけ薬剤師の整備による重複・過剰診療等への対策の検討」 重複・過剰診療等 ⇒ 重複受診・過剰診療等 の間違いだと思います。 また過剰診療という文言も問題ありと考えます。すなわち一般的な診療で対応できない場合、医師の裁量権で認められる診療行為もあることを忘れてはいけません。 【後日、追加意見】 	<ul style="list-style-type: none"> ・重複・過剰診療等の記載を「重複受診等」に修正。 	提言 P4 18行目
73	基本構想に基づく具体的な取組の実施に当たって（提言素案）	健康・医療	<ul style="list-style-type: none"> ・14個目の○「電話やオンライン、チャット相談などによる医療・支援が受けられる仕組みの整備」 医療・支援が受けられる ⇒ 遠隔診療では対応できないこともあまだ少なからずあります。 医療・支援も受けられる とした方が良くと思います。 【後日、追加意見】 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見どおり修正。 	提言 P4 20行目

No	章	項目	意見概要	修正内容・対応方針	修正箇所
74	基本構想に基づく具体的な取組の実施に当たって（提言素案）	健康・医療	<ul style="list-style-type: none"> 健康・医療の上から16個目の ○ 「在宅医療や地域での連携を通じた地域全体としての総合病院的な機能を持たせるネットワーク構築の検討 恐らく在宅医療という言葉を目立たせたかったのかもしれませんが、次のようにしては如何でしょうか。 ⇒在宅医療・外来診療における病診連携、診診連携、医療介護連携を通して地域全体としての総合病院的な機能を持たせるネットワーク構築の検討 【後日、追加意見】 	<ul style="list-style-type: none"> 意見を踏まえ修正。 	<p>提言 P4 23行目</p>
75	基本構想に基づく具体的な取組の実施に当たって（提言素案）	健康・医療	<ul style="list-style-type: none"> 健康・医療の一番下の○ 「災害時における病院の避難所としての活用」 この文言は削除していただくことを求めます。言うまでもなく病院は診療を行う場です。杉並区では、発災後72時間までの超急性期には災害拠点病院、災害拠点連携病院の敷地内に緊急医療救護所を設置してトリアージ及び軽症者の治療を行い重症者及び中等症者は災害拠点病院、災害拠点連携病院に受け入れ要請を行うことになっております。病院には病院でしか対応できない方の診療に専念していただけることが目的です。特にある程度以上の規模で災害が発生した場合院内も非常に混乱をしていることが想定されます。病院での診療が必要でない方が病院内に入れることは適切な医療行為が行われることの妨げになることが危惧されます。もちろんケースバイケースですがこの文言が記載されて公式な文書に残ってしまうことは非常に危険です。 【後日、追加意見】 	<ul style="list-style-type: none"> 意見を踏まえ修正。 	<p>提言 P4 26行目</p>
76	基本構想に基づく具体的な取組の実施に当たって（提言素案）	子ども、学び	<ul style="list-style-type: none"> P6、子どもに以下を追加してほしい。 ① 児童養護施設退所者支援 学びに以下を追加してほしい。 ① 夜間中学実施 ② 日本語を習得していない児童生徒への支援 【後日、追加意見】 	<ul style="list-style-type: none"> 提言の内容に反映。 	<p>提言 P6 18行目 ・ P7 23、24行目</p>

No	章	項目	意見概要	修正内容・対応方針	修正箇所
77	基本構想に基づく具体的な取組の実施に当たって（提言素案）	区政経営の基本姿勢《行財政運営》	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提言素案のP9に記載のある「稼ぐ」という表現は、審議会でも意見が分かれているので、削除するべきではないか。行財政運営で言えば、更なる情報公開や意思形成過程の透明性の行政機運を出すことが良いのではないか。 ・ 提言素案と基本構想答申素案の関連性はどうなっているのか。基本構想をしぼる、強制力を持つものなのか。提言素案にある「稼ぐ」という表現は、削除してほしい。稼ぐことについては、民間に任せて、利益を生むという財政運営は間違いではないか。 ・ 稼ぐという言葉に対しての受け取り方は様々なので、しっかりと説明すべきではないか。行政が税金をどのように使うか、建物や土地の有効活用は、必要不可欠である。 ・ 稼ぐという表現が悪く受け取られるのであれば、価値を生かすなど、バリューを生かしていくことはこれから重要なので、思想は残したほうが良いのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提言の中で、「稼ぐ」という文言について、財産の有効活用という観点で表現修正。 	<p>提言 P9 21、23行目</p>
78	基本構想に基づく具体的な取組の実施に当たって（提言素案）	区政経営の基本姿勢《行財政運営》	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区としての「稼ぐ力を持つ」ということへの否定的な意見について。二宮尊徳は江戸時代の財政再興・復興人として、以下の有名な言葉を残しています。 「道徳のない経済は罪。経済のない道徳は寝言」です。 倫理観のない商業ベースでの「稼ぐ力」というニュアンスを持たれるので、否定、との意見があったかと。「稼ぐ力」が無ければ、区政は空論・理想論であって、いくらいいアイデアでも現実化できない。適切な施策を実施するためには、道徳（倫理）と経済（稼ぐ力）が無いといけない、という意味ですか、と。 【後日、追加意見】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提言の中で、「稼ぐ」という文言について、財産の有効活用という観点で表現修正。 	<p>提言 P9 21、23行目</p>